

2.4 信頼性					2.6	0.19		-	
1	空調・換気設備				3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備				3.0	0.20		-	
3	電気設備				1.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法				3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備				3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性					2.9	0.29	2.5	1.00	2.5
3.1 空間のゆとり					1.8	0.02	2.0	0.50	
1	階高のゆとり				1.0	0.60	2.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.40	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.02	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性					3.0	0.97		-	
1	空調配管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース				3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	2.6
1 生物環境の保全と創出		●とも	A'(全国版準用)		1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		○	C(独自加点) D(独自基準)	京都市指令都都市 第25040280号	4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮					2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		●とも、 自然	A'(全国版準用)		3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		●とも	A(全国版準用)		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	3.0
1 建物の熱負荷抑制					3.0	0.39		-	3.0
2 自然エネルギー利用					3.5	0.20		-	3.5
2.1 自然エネルギーの直接利用		●自然	A(全国版準用)		3.0	0.50		-	
2.2 自然エネルギーの変換利用		●自然	A(全国版準用)	屋上に太陽光パネルを設置	4.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化					2.8	0.39		-	2.8
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)				#VALUE!	5.0			-	
集合住宅の評価					2.8			-	
4 効率的運用					3.0	0.01		-	3.0
4.1 モニタリング					3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制					3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護					3.0	0.15		-	3.0
1.1 節水				節水便器の使用	3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無		●自然	A(全国版準用)		3.0	0.98		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.02		-	
2 非再生性資源の使用量削減					3.3	0.63		-	3.3
2.1 材料使用量の削減		●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		2.0	0.07		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.24		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.20		-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		●大切	A'(全国版準用) B(推奨内容)	2種類のエコマーク材料を使用	5.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		●自然	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.05		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		●大切	A(全国版準用)		3.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.0	0.22		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避					3.0	0.68		-	
1 消火剤					-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)					3.0	0.50		-	
3 冷媒					3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮					3.8	0.33		-	3.8
2 地域環境への配慮					1.9	0.33		-	1.9
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		●とも	A(全国版準用)		1.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					2.7	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減					3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制					2.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制					3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮					3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40		-	
1 騒音					3.0	0.33		-	
2 振動					3.0	0.33		-	
3 悪臭					3.0	0.33		-	
3.2 風害、日照阻害の抑制					3.0	0.40		-	
1 風害の抑制					3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制						-		-	
3 日照阻害の抑制					3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制					3.0	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					3.0	0.70		-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		●大切	B(推奨内容)		3.0	0.30		-	

記号凡例 ●:重点項目 ○:低炭素景観創出に係る項目

重点項目キーワード凡例 「大切」:大切に使う 「とも」:ともに使う 「自然」:自然からつくる